

### 試合形式 Competition Rules

#### 試合形式

決勝点	11点
タイムキャップ(TC)	45分経過した時点で両チームとも決勝点に達していない場合に発生
TC発生後の決勝点	両チームの点数を比較して、高い方に2を加えた点数(上限11点)
ハーフタイム突入点	6点
ハーフタイムキャップ(HTC)	20分経過した時点で両チームともハーフタイム突入点に達していない場合に発生
HTC発生後のハーフタイム突入点	両チームの点数を比較して、高い方に1を加えた点数(上限6点)
ハーフタイム継続時間	5分(試合時間に含まれる)
タイムアウト	1回75秒 1チームあたり前後半それぞれ1回以内(試合時間を含む)
コートサイズ	100m×37m

#### リーグ内順位決定方法

- リーグの全チームの順位を勝利数で決定する。
- 勝利数が同数の場合、下記の順位決定方法を使用して順位を決定する。
- 順位決定方法は最上位のチームを決めるためだけでなく、勝利数が同数の全てのチームに適用される。
- 一つの順位決定方法が適用されても、該当する全てのチームが同順位の場合、次の順位決定方法に移る。
- 該当するチームのうちの一部が同順位となった場合、同順位であるチーム間で、また最初の順位決定方法から適用し、順位を決める。

#### 順位決定方法: 以下の順により順位を決定する。

- 該当するチーム間における勝利数。
- 棄権した試合数の少なさ
- 該当するチーム間における試合の得失点差
- 共通する相手チーム全てにおける全試合の得失点差
- 該当するチーム間における試合の得点数
- 共通する相手チーム全てにおける全試合の得点数
- 各チーム一人ずつがゴールラインの後方から遠い方のブロッカマークにディスクを投げ、ディスクの位置がブロッカマークから近い方を上位とする。尚、ディスクを投げる順番は、ディスクス (フリップ) 等で決定する。

#### 本戦出場枠数

地区	オープン	ウィメン
北海道	1	1
東北	1	0
関東	6	7
中部	3	2
関西・中四国	4	5
九州沖縄	1	1
合計	16	16

#### 本戦出場チーム (決定方法・枠数)

<https://www.jfda.or.jp/web/wp/wp-content/uploads/2022/01/62e60a7d426547809b3d6d8e2a509829.pdf>

#### 全日本U21アルティメット選手権大会本戦の組み合わせ作成手順

2019年度と2021年度で、本戦出場枠が8枠から16枠になったことや、地域区分が東日本/西日本から6区分になったことを踏まえ、以下のように本戦の組み合わせを作成しています。

- 2019年度の本戦の最終順位で出場チームを並べたリストAを作成する。
- リストAから、各チームの2021年度における所属地区を適用したリストBを作成する※1。  
(例として、1.関東地区、2.関西・中四国地区、3.関東地区のような最大8枠のリストになる)
- 2021年度の各地区予選結果を、2.の手順で作成したリストBの対象地区別に上から順に埋めていく。
- リストBに含まれない地区がある場合は、当該地区を優先し当てはめる※2。  
その後、2.の手順で作成したリストBの優先順位に沿って、残りの各地区予選結果を上から順に埋めていく。
- この最終リストCを用いて、2021年度全日本U21アルティメット選手権本戦の組み合わせを作成する。

※1 「地区予選」について、2019年度は「東日本/西日本」での実施でしたが、2021年度は「北海道/東北/関東/中部/関西中四国/九州沖縄」での実施となるため、該当チームの2021年度時点での所属地区を採用します。  
(例：北海道大学は2019年度は「東日本」地区だが、2021年度は「北海道」地区のチームであるため、「北海道」地区をリストに記載する)  
※2 オープン部門：2019年度の本戦上位7チームのうち、東日本3チーム/西日本4チームのため、シード順8位は東日本から選抜。  
地区として選抜されていない東北地区を当てはめる。その後選抜されていない九州・沖縄地区を当てはめる。  
ウィメン部門：2019年度の本戦上位チームが東日本地区のため、シード順9位は地区として選抜されていない北海道地区を当てはめる。  
その後選抜されていない九州・沖縄地区を当てはめる。